



第1号

発行 平成 21 年 6 月 1 日 隔月発行

「ゆめこらぼ」は、コラボレーション(協働)によって夢を広げる、夢にあふれた空間をめざします 発行 西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ 〒188-0012東京都西東京市南町5 - 6 - 18イングビル1階

はじめまして!!西東京市市民協働推進センターゆめこらぼです

「西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ」がオープンして2カ月がたちました。 しかし、当センターを訪れる人はまだ多くはありません。

もっとみなさんに知られる存在になるよう努力していきます。

私たちは、センターが一部の特定の人たちの場所でなく、多くのみなさんが立ち寄りたくなる場所にしていきたいと思います。



センター長 鈴木剛

法政大学卒業後、印刷・広告会社に勤務するが、26 歳の時サラリーマン生活にピリオドを打ち、ニュージーランドに渡航。帰国後、ひきこもり青少年の自大学院で認知行動療法を学ぶ。2003年、西東京市で「オンリーワンクルー」という団体を設立し、自宅を開放して青いさいを始める。精神障がい者共同作業所、老人ホーム勤務などを経現職に至る。2歳6カ月の男の子の父親として子育てにも奮闘中。

三つの理念

多様な人が「あつまる」 多様な人を「つなげる」 多様な活動を「ささえる」

センターはこんなことをしていきます

協働を推進します...協働とは、地域課題の解決や目標の実現に向けて、 行政、市民活動団体、NPO、大学などがそれぞれの特性を生かして、対等

なパートナーとして協力することをいいます。当センターでは、協働で拓(ひら)くまちづくりを進めていきます。

情報収集して、発信します...西東京市内でどんな困り事が存在するかを情報収集して、実際にその問題を解決してくれそうな人や団体をつなぎます。

活動を紹介します...市内の個人や団体(NPOや市民活動団体)の活動をわかりやすく紹介します。

市民活動よるず相談(無料)、講座などを開催します...NPO法人などの活動団体の設立相談、市民活動を始めたい方の相談、市民活動を始めるための入門講座、団体設立講座、コミュニティービジネス、資金調達の方法、人材育成など、市民活動に役立つ内容の講座を随時開催します。このほかにも市民活動を紹介するイベントや気軽に語り合える場を作ります。詳しくはお問合せください。

センターの主役はみなさんです

みなさんの周りで「あれ?これって協働なんじゃないかな?」という例があったらぜひ教えてください。また、「この団体とこの団体がつながったらもっとうまくいくんじゃない?」という**アイデアも大募集**。

みなさんの周りで<u>困っていることがありましたら教えてください</u>。すぐに私たちが解決することはできないかもしれませんが、それらの情報を蓄積して、地域のみなさんと共有していきたいと思います。

みなさんの<u>活動を教えてください</u>。センターには 100 種以上のパンフレットが入るラックがあります。団体のパンフレットや会報をお持ちください。また、この紙面でも団体の活動を紹介していきます。

仕事の経験・趣味を生かして<u>「ちょっと地域に貢献してみたい」方がいらしたらお気軽にご相談ください。</u> 「こんな講座が出来ます」など、講師になってくれる方も大歓迎です。

「協働」に関する疑問があったら、まずはセンターに<u>**お越しください</u>**。 質問の数や相談の多様さが私たちスタッフの引き出しを増やしてくれます。 みなさんでセンターを育ててください。</u>



☆☆☆☆ 少し難しいですが、協働とは? ☆☆☆☆

「異種・異質の組織」が「共通の社会的な目的」を果たすために、「それぞれの資源や特性」を 持ち寄り、「対等の立場」で「協力して共に働く」こと、と日本NPOセンターは定義しています。

協働するのはなぜ?

私たちの身の回りにはいろいろな社会問題や地域の課題があります。市民ニーズも多様化して、 行政サービスだけでは解決が難しくなってきました。

「行政・自治体だからできること」「民間企業だからできること」「市民団体だからできること」 を持ち寄ったら、もっと大きな力になるはずです。

共通した目的を達成するため、行政から資金や場所などを支援してもらえると、事業や活動は一 層円滑に進むことが期待されます。

西東京市では、協働はこんな形で進んでいます(「市民団体と市役所」の事例の一部)

市民団体	市役所	事業の内容	
西原自然公園を育成する会	みどり公園課	雑木林を良い状態に維持していくには「自然の生態系に任せ	
		ず、伐採など人の手を加えることも必要」という市民団体の提	
		言・協力を受け、健康な雑木林をよみがえらせることに成功	
NPO法人西東京自然を見つめ	みどり公園課	見慣れている街もウオーキングコースとして歩いてみると新	
る会		しい発見が。旧田無の人は保谷を、旧保谷の人は田無を歩いて	
		知って欲しい。「みどりの散策マップ」の作製も活動の一つ	
NPO法人セプロス	高齢者支援課	高齢者のためのパソコン教室を市が委託。受講した人たちと一	
		人暮らしの高齢者とがメールをやりとりすることで安否確認	
		などができる「リボンネットワーク」をつくっています	
もぐらの会ほか7団体	教育部図書館	図書館のおはなし会で、おはなしや絵本の読み聞かせ	
NPO法人子どもアミーゴ西東	児童青少年課	公設民営の4つの学童クラブを運営。市から委託されたことで	
京		子ども・親・指導員の思いが実現しやすくなりました(通常	
		18:00 までの開所時間を 19:30 まで延長できたなど)	

155 (M) OD 37, 157

公共花壇彩る 花いっぱい運動

「あんたら、市役所の職員か、シルバー(人材セ ンター)か。金もらって、くだらん」。花壇の手入れ をする花の会会員にこんな言葉を浴びせた人がいる と、理事の水井高志さん=写真=は表情を曇らせま した。

花の会と市が「協働」する花いっぱい運動。季節

を問わず、公園など市内の公共用地 40 カ所を花で飾っています。花壇のデザ インを会員と市が相談し、市が用意し た苗や肥料を使って、苗を植え、手入 れをし、花を咲かせるのは花の会会員 約100人の無償の作業です。

一口に花壇といっても1カ所で数百 株もあり、自宅の庭やベランダのプラ

ンターとは規模が違います。そこを 1 人または数人 で管理するケースが多いそうです。いこいの森公園 (緑町3)で、咲き終えて色をなくしたパンジーの

NPO法人 西東京花の会× 西東京市みどり公園課

花びらを摘み取りながら、水井さんは「根気を要す る作業がいくつもあり、カンカン照りや霜の降りる 日もある。子どもや犬が入って荒れもする。そこを 手入れするのだから、会員の気持ちを『花好き』と いう言葉だけでは表現しきれません」と話してくれ ました。それでも心無い言葉には「黙々として我慢 するしかありません。

> 花の会は、丹精した庭を見てもら いたいという人の好意によって、美 しい庭に癒しを求める市民が一定 のルールのもとで見学することが できる「オープンガーデン」も、市 と協働で進めています。

> これは市のNPO企画提案事業 に採用され、23 カ所を写真に収め

た公式ガイドブック2千部が助成金で作られました。 オープンガーデンは今年30カ所に増やす計画で、市 の広報紙で今春新しい庭主募集を呼びかけました。



こんな相談

あんな相談

ーノ谷喜義さん(74) = 南町3丁目



有機野菜ブランド化

当センターが開設して間もない3月中旬に来所されました。「ゼロ野菜武蔵野」というブランドを確立し、元気なまちづくりを目指したい、との相談でした。

産地偽装や輸入ギョーザ事件などから食の安全・安心が一段と強く求められる今、農産物の地産地消と家庭から出る良質な生ごみや落ち葉・せん定材を堆肥化することが大きな柱でした。ご自身は農作業の経験はなく、昨年から新聞記事を中心に研究したそうです。

とても相手が多い構想なので、まずはセンター職員が都市農業の振興を目指して活動する西東京市地産地育会の事務局へ電話を入れ、一ノ谷さんと少し話をしてもらいました。その後、直接地産地育会を訪ね、じっくりと話し込んだと言います。

地産地育会と同会を支援するNPO法人・西東京NPO推進センター「セプロス」は、「どこから具体化するかをはじめ、一つずつステップを上げていきたい」と話しています。

みんなの本棚

「社会を変える」を仕事にする 社会起業家という生き方



駒崎弘樹<著>

ブームの感がある社会起業。元IT ベンチャー経営者の著者のテーマは 「病児保育」。採算が合わないという 理由でどこも二の足を踏んだ分野に

1人飛び込んだ。ベテラン保育ママたちのサポートもあり事業は徐々に発展、病児保育サービスは全国に拡大している。

彼の言葉は印象的だ。「門外漢のド素人によって東京の下町で始まったモデルが、政策化され、似たような事業が全国に広がっていったのだ。自らの街を変える、それが世の中を変えることにつながっていったのだ。(中略)だとしたら、「社会を変える」ことは絵空事ではないはずだ。一人ひとりが、自らの街を変えるために、アクションを起こせばいいだけなのだ」。勇気をもらえる1冊。 (鈴木)

読後感 表紙を開くまでは勉強するつもりでしたが、わかりやすい言葉、構成、そして何よりも熱い思いがストレートに伝わってきて、読後は心地よい「やられた感」を味わい、余韻に浸りました。 (田中)



市内在住の石井さん イタリアのアート 幼児教育である「レッジョ」専門家。カラー & イメージコンサルタントとして資生堂の 講座講師、色彩心理学を学び、02 - 06 年の 4 年間、イタリアで「レッジョ」を学ぶ。西東京市でレッジョ教育を実践する団体設立を 準備中。保育園など教育機関との協働を模索しています。

市内在住の高島さん 市内在住の高島さん。3年前から家庭の不要品を自宅玄関に「0円均一 自由にお持ち下さい」というポスターを張った箱に入れて出している。中身はほぼ1週間でなくなるそう。地域の人たちでお互いにこの仕組みを使えるようにしたら便利。現在、ポスターを自分のホームページに載せて、だれでも印刷できるシステムを準備中です。

市内在住の古谷さん 野菜ソムリエ、調味料マイスターの資格を持つ。市内の約300軒の農家と消費者の懸け橋となる朝市を提案。 実現すれば地産地消がすすみ、農家は元気になるし、消費者も新鮮でおいしい野菜が食べられるでしょう。



助成金情報

ニッセイ財団 高齢社会助成(実践的研究) 【対象】 認知症高齢者に関する予防からケア までを探求する実践的研究

高齢社会における地域福祉、まちづくりを探求する実践的研究 高齢者の自立・自己実現・ 社会参加を探求する実践的研究

【助成金額】 2 年、1 件当たり 200~250 万円 程度(新規5~8件)

【応募期間】6月16日まで

【問い合わせ先】〒541-0042 大阪市中央区今橋 3-1-7 日生今橋ビル4階 日本生命財団 高齢社会助成 事務局 電話 06-6204-4013

センター6・7月の予定

市民活動をしている方をゲストに招きパネルディスカッションを7月に予定しています。 詳しくはお問合せ下さい。市民活動団体同士のネットワークづくりも進めていきます。

団体登録しませんか?

西東京市市民協働推進センターは登録団体を募集しています。登録はとっても簡単。一度お問い合わせください。これから活動を始めようという方には、団体立ち上げの支援をします。会則の見本もあります。登録団体同士の情報交換・ネットワーキングのお手伝いもします。

登録すると...

メールボックスが使えます! (無料。郵便物の受取先に できます)

サロンコーナー・印刷機の予約ができます!

資格 市内で市民活動をしている団体、またはこれから 始めたい団体(構成員2人以上)。事務局が市内にある、 または主な活動場所が市内にある団体。

必要なもの

団体規約または会則 会員名簿

申請書 所定の用紙に代表者の名前、住所、活動内容などを記入

こんなとき、お役に立ちます

新しいメンバーを増やしたい 退職して今度は地域で役立ちたい 市民活動をしてみたい。何から始めよう? 仲間 集めから?

同じような活動をしている他の団体とつながり たい

助成金はどうすればもらえるの?

自分たちの活動をPRしたい

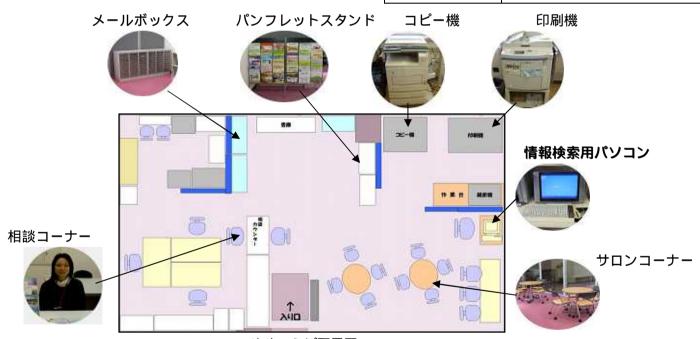
まちづくりに興味がある

NPOってなに?

行政と協働したい

【利用できるもの】

	製版代	1 製版につき 35 円	
印 刷 機	インク代	100 枚につき 10 円	
	印刷用紙	はお持ち込み下さい	
コピー機	1枚10円		
メールボックス	無料		
サロンコーナー	無料		
ラミネーター	無料(フィルムはお持ち込み)		
紙折り機	無料		

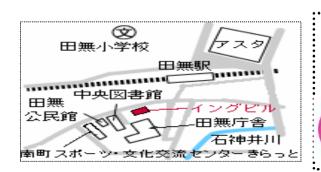


- ゆめこらぼ配置図 -

《編集後記》

…「七人の 情」」よろしく、勇ましくも第一歩を踏み出した7人のスタッフたち。「ゆめこらぼ通信」第1号に私たちの夢は盛り込めたでしょうか。若いセンター長以下、人生経験豊かなシニアの面々が、皆さまと夢を語りたいとお待ちしております。「ゆめこらぼへようこそ!」(田中)

…「通信」の題字はセンター長の奥さんが6種類作ってくれたデザインの一つ。卵が割れて芽(目)が出るところがちょっと不思議でおもしろいと、スタッフ全員が「これっ!」。紙面では来る人、読む人、作る人の顔が見えるよう心がけます。(三浦)



開館日:水~月(10時~21時)土・日・祝日オープン

休館日:火曜日・年末年始

〒188-0012 西東京市南町 5-6-18 イングビル 1 階

西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ

Tel: 042-497-6950 FAX: 042-497-6951

E-mail: yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp